

平成28年5月26日

資料提供先 福山市政記者クラブ
府中市役所記者クラブ

河川堤防の在来種を外敵から守ろう！ ～硫安による防除を本格実施～

近年、芦田川や高屋川（直轄区間）の河川堤防において、特定外来生物であるオオキンケイギクの繁茂が顕著に見られるようになってきております。オオキンケイギクは、**繁殖力が強く在来種の生息域を奪い、河川堤防の裸地化が進行することで、堤防の弱体化につながりかねません。**

オオキンケイギクが特定外来生物に指定された平成18年以降、福山河川国道事務所では、刈り取りや抜き取りによる防除を行ってきましたが、強い繁殖力から防除に多大な労力を要してきたため、防除の新たな取り組みとして、昨年度、芦田川管内において、試験的に「**硫安（肥料：硫酸アンモニウム）散布による防除**」を行ってきたところです。

現在、試験工区において、一定の効果が認められることから、今年度から全ての繁茂場所において、硫安による防除を実施することとしました。

なお、硫安散布について、下記日程で実演しますのでお知らせします。

- 日時： 平成28年6月1日（水）（予備日：6月2日）
10:00～11:00
（雨天により作業ができない場合、実演は翌日に延期する場合があります。）
- 場所： 芦田川（左岸）大渡橋下流の堤防川側斜面付近
福山市御幸町地先（別紙－1）
- その他： 実演に関する問い合わせ先
国土交通省 福山河川国道事務所（土日を除く
9:00～17:00 まで）
芦田川出張所 TEL：084-923-8478

お問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 福山河川国道事務所

副 所 長

おおくぼ まさひこ
大久保 雅彦

【担 当】河川管理課長

やまね ちずみ
山根 千澄

TEL(084) 923 - 2511(ダイヤルイン)

FAX(084) 923 - 2557

ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/fukuyama/>

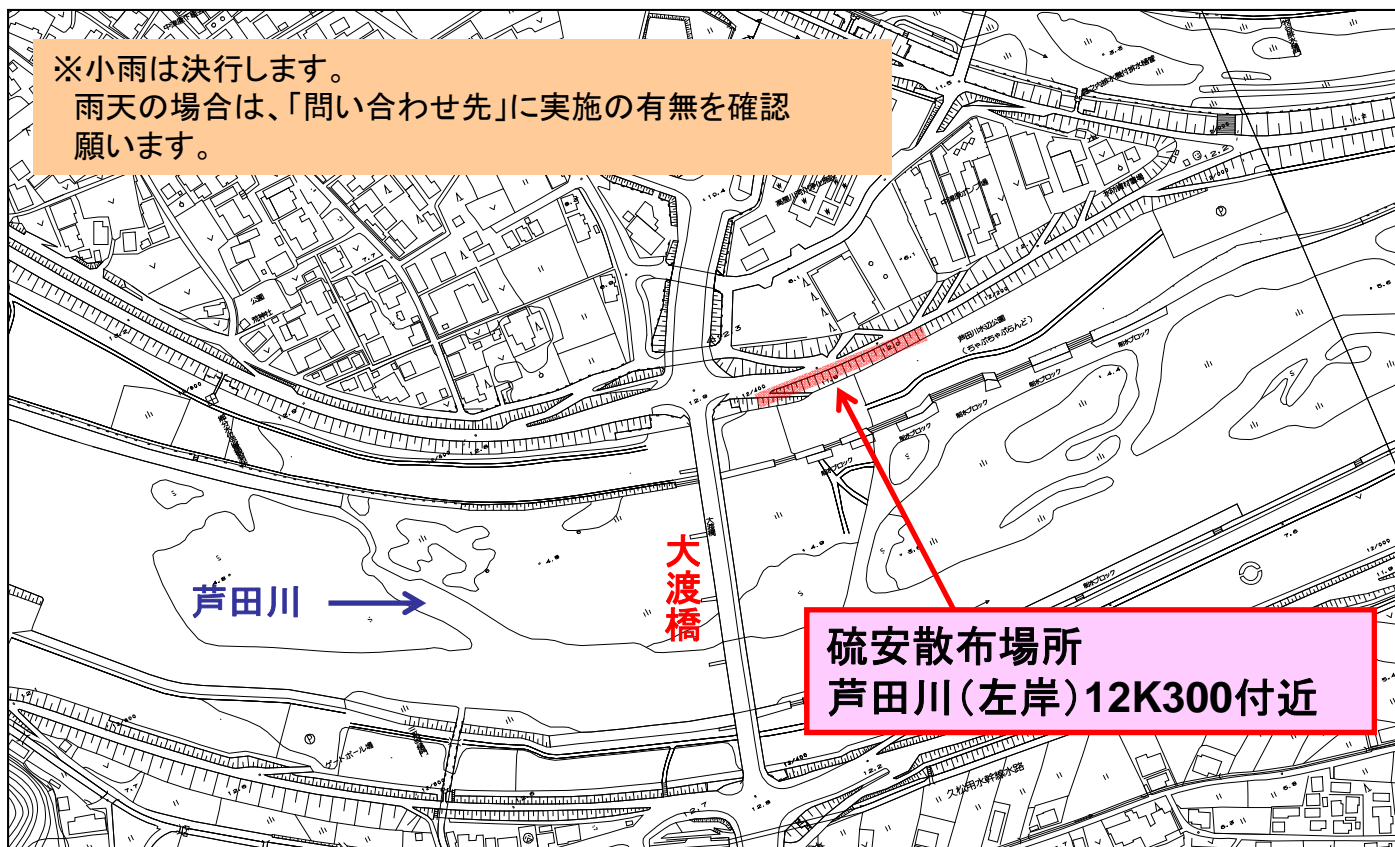
【硫安散布実演場所】

(別紙-1)

取材をされる方へ

報道関係の取材の方は、下記場所で硫安散布を実施しますので、午前10～11時の間にお越し下さい。

※小雨は決行します。
雨天の場合は、「問い合わせ先」に実施の有無を確認
願います。



硫安散布の様子(H27年度)

芦田川左岸(上記箇所)のオオキンケイギク抜き取り作業の様子(H27.5撮影)



特定外来生物(オオキンケイギク)防除の取り組みについて

【概要】

【硫安散布による防除に至った経緯について】

オオキンケイギクは、平成18年2月に国土交通大臣により防除の公示が行われた陸生植物5種のひとつで、芦田川水系でも生息域が拡がりつつあります。

福山河川国道事務所では、平成18年度以降、刈り取りによる防除を行い、平成26年度以降、抜き取りによる拡散防止を図ってきましたが、防除費用の増加や強い繁殖力から大きな課題となっておりました。

オオキンケイギクの防除について、岡山河川事務所と鳥取大学との研究委託による検討結果によると、**刈り取り後の硫安散布が防除につながる**ということがわかり、昨年度、芦田川において、繁茂場所の一部の工区で試験施工(約5,900m²)を行いました。今回、芦田川においても一定の効果が期待できることから、今年度より全ての繁茂場所において、硫安散布による防除を行うものです。

オオキンケイギク繁茂範囲
(H27実績)
芦田川管内 A=約11,000m²

【硫安(硫酸アンモニウム)について】

園芸用で一般的に市販されている肥料です。

河川堤防(土壌)に硫安を施用することにより、在来種(イネ科等)の繁茂を促す一方、**酸性を嫌うオオキンケイギクの生育力を弱める**ことで徐々に淘汰していくことを期待するものです。

【硫安施用によるオオキンケイギク防除の流れ】



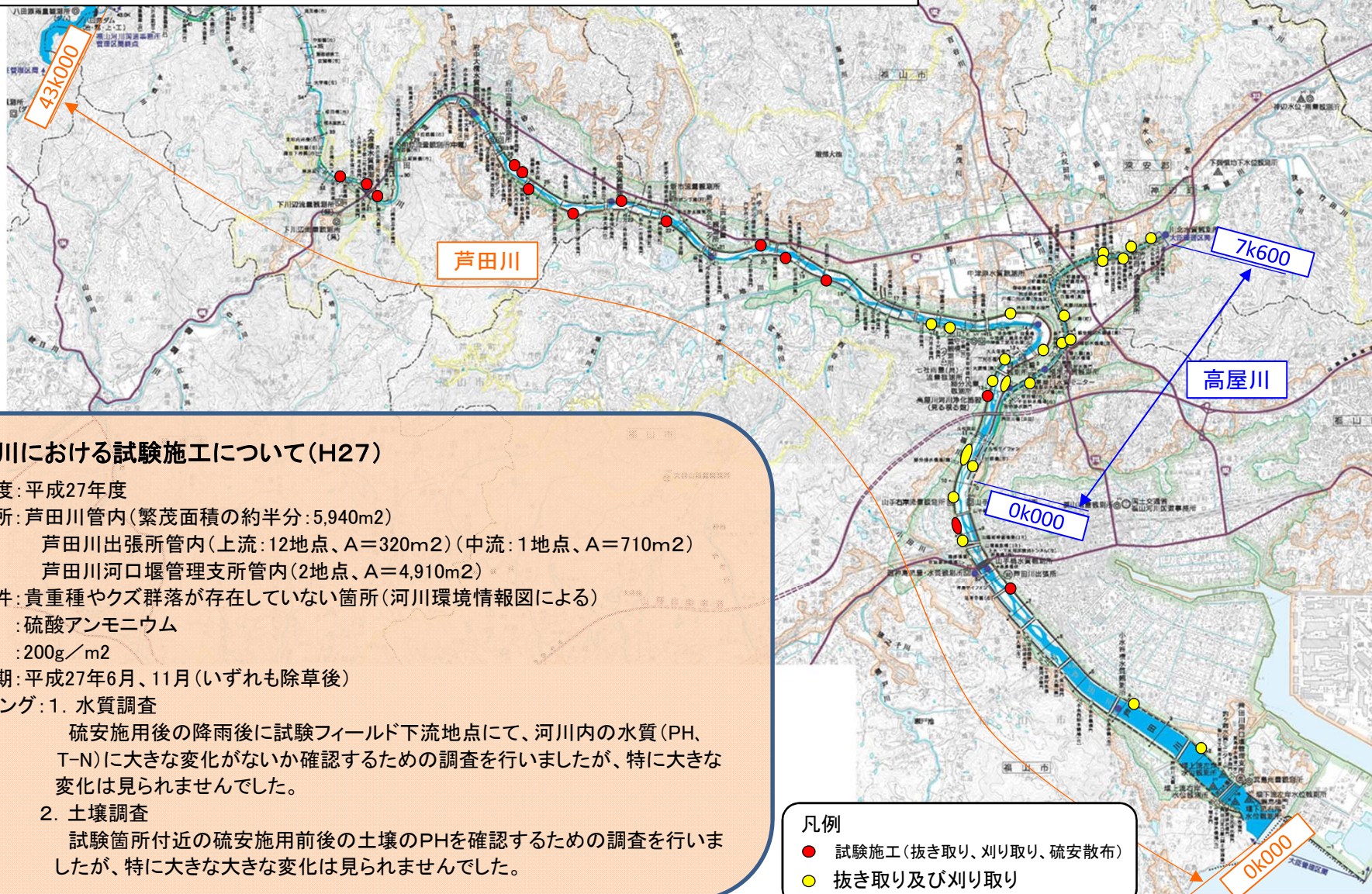
種子結実前に刈り取り、産業廃棄物処理場にて焼却処分

花の刈り取り後、散布機により硫安(硫酸アンモニウム)を散布(年2回)します。
除草(1回目・種子結実前)→**硫安散布(今回実施内容)**→除草(2回目)→硫安散布

硫安(硫酸アンモニウム)の施用
施用量: 200g/m²

オオキンケイギク繁茂範囲及びH27試験場所について

国土交通省 福山河川国道事務所



芦田川における試験施工について(H27)

試験年度:平成27年度

試験場所:芦田川管内(繁茂面積の約半分:5,940m²)

芦田川出張所管内(上流:12地点、A=320m²)(中流:1地点、A=710m²)

芦田川河口堰管理支所管内(2地点、A=4,910m²)

試験条件:貴重種やクズ群落が存在していない箇所(河川環境情報図による)

散布物 :硫酸アンモニウム

散布量 :200g/m²

散布時期:平成27年6月、11月(いずれも除草後)

モニタリング:1. 水質調査

硫安施用後の降雨後に試験フィールド下流地点にて、河川内の水質(PH、T-N)に大きな変化がないか確認するための調査を行いました、特に大きな変化は見られませんでした。

2. 土壌調査

試験箇所付近の硫安施用前後の土壌のPHを確認するための調査を行いました、特に大きな大きな変化は見られませんでした。

凡例

● 試験施工(抜き取り、刈り取り、硫安散布)

● 抜き取り及び刈り取り

試験施工前後のオオキンケイギクの繁茂状況(山手橋下流の河川堤防)



芦田川右岸9K200付近 H27. 5. 21撮影(試験施工前)



芦田川右岸9K200付近 H28. 5. 18撮影(試験施工後)